世界の情勢（ヨーロッパ）II

科目ナンバリング　ARS-104
【Ⅳ】　選択　2単位

森崎　美穂子

1. 授業の概要（ねらい）

現在、様々な分野でグローバル化が進展している。こうした状況において諸外国の政治・経済の知識、文化への理解は、今後の日本の国際社会での役割を考えるうえで重要な要素となる。この授業では、欧州（特に西ヨーロッパ）を取り上げ、地理的特徴や歴史、文化、そして、最近の経済情勢や産業について学ぶ。講義を通じて、欧州に関するニュースの背景を分析し、考察できるになることを目指す。

2. 授業の到達目標

①欧州各国の地理的特徴と歴史を把握する。
②欧州各国の文化・社会・経済に対する基本的な知識を得る。
②欧州各国のニュースに関心を持ち、その事象の原因・背景を分析し、考察する力を養う。

3. 成績評価の方法および基準

・授業ごとのリアクションペーパー（あるいは授業内ワークの成果）65%、期末レポート35%
・出席率3分の2以上（公欠を除く）と期末レポートの提出が単位の取得に必須となる。

4. 教科書・参考文献

教科書
適宜資料を配布する。
参考文献
明石和康　『ヨーロッパがわかる－起源から統合への道のり』　岩波書店
木村純子 編著・陣内秀信 編著　『イタリアのテリトーリオ戦略: 甦る都市と農村の交流』　白桃書房

5. 準備学修の内容

・欧州の政治経済に関するニュースを読み、主要な人物やキーワードを覚えておく。
・参考書に紹介した本などを読んで欧州の地理、歴史のポイントを押さえておく。

6. その他履修上の注意事項

・欧州情勢によって適宜授業の順番・内容を調整する。
・「世界の情勢（ヨーロッパ）Ⅰ」の後に「世界の情勢（ヨーロッパ）Ⅱ」を履修することが望ましい。

7. 授業内容

【第1回】　ガイダンス
授業の内容と進め方、評価方法などの説明
【第2回】　EUの経済と産業の特徴
【第3回】　EUの気候変動対策と産業
【第4回】　EUのSDGsの取り組み
【第5回】　EUの都市と文化1：各国の首都、観光都市
【第6回】　EUの都市と文化2：文化政策
【第7回】　EUの農山村の持続可能な発展、観光との関係
【第8回】　スローフード、スローシティ運動
【第9回】　EUと諸外国との関係：アメリカ
【第10回】　EUと諸外国との関係：日本（オンライン）
【第11回】　EUと諸外国との関係：中国
【第12回】　EUの課題：移民
【第13回】　EUの課題：経済・雇用ほか
【第14回】　復習
【第15回】　期末レポートの書き方、評価のポイントの説明